

清流

やればできる

「変えていこう やればできる」…何度か紹介してきましたが、これは、今年度決めた、子どもたちと職員の共通したスローガンです。このスローガンを決めるとき、職員とも子どもたちとも、今の甲佐小学校は変わらなければいけない面があることを、まず自覚しました。そして、昨年度「四つのあ」に重点的に取り組んだときに成果があったことをもとに、私たちは「やればできるんだ」ということもしっかりと確認し、決定したのです。

先日、甲佐町学童陸上記録会が行われました。以前発行しました学校だより8号「こんなことも考えています」(学校HPでご覧いただけます)に書いたような私の気持ちもあり、当日に向けて2週間しっかりと練習しました。記録会では、その成果を見事に発揮することができ、多くの子どもたちが生き生きと躍動しました。その姿は正に「やればできる」といえる姿でした。その姿を学校だよりでどうにかお伝えしたいと考えていたところ、5年生の米満先生の学級だよりがその目的にぴったりでしたので、今回はその一部を以下に掲載したいと思えます。

今週の水曜日は町の陸上記録会でした。2年ぶりの実施でした。2週間前から放課後練習を行い、大会に備えていました。大会では、本当によく頑張っている子どもたちの姿が見られました。ですが、それまでには悩むところもありました。女子のリレーや走り高跳びの選手を決める際に、なかなか決まらなかったのです。みんな自信がなかったようで、リレーと高跳びへの希望者が少なかったのです。そのことで叱ることもありました。そこで話合いや競走をして、リレーには〇〇さん、□□さん、△△さん、●●さんが決まり、高跳びは●●さんと■■さんとなりました。高跳びは難しく、●●さんも■■さんもなかなかうまく跳べず、男子の▲▲くんもうまく跳べずにいました。それが、終わってみるとリレーは男子が1位、女子が2位。そして高跳びに関しては、あれほど跳べなかったのに、3人とも跳ぶことができたのです！

終わって●●さんや■■さんにどうだったか聞いてみると、「楽しかった」「やってよかった」とのこと。実は、家でも柔軟や動きの練習に取り組んでいたそうなのです。日頃の練習に加え、そのような努力が実を結んだ結果だったことが分かり、とてもうれしく思いました。

もし、参加していなかったら、終わった後どんな感想だったでしょうか。おそらく「やってみたらよかった」「しなくてよかった」でしょう。しかし、取り組んだことで「もっと〇〇したらよかった」「次は～しよう」と思えたのではないかと思います。やってみたからこそ、多くのことを学ぶことができたと言えます。

「やってみたからこそ、分かることがある」と思えます。それも、単にこなしたのではなく、それに向けて努力をしてやってみたからこそ、より多くのことを感じることもできたと言えます。貴重な機会だったのではないかと思います。今回は、私が担当していた高跳びを例に挙げましたが、それぞれの競技で子どもたちが頑張る姿が見られたことは、大きな収穫です。やっぱり5年生は「やればできる」。そのことを感じた陸上記録会でした。なお、上位入賞者は、10月27日(土)に嘉島で行われる「上益城郡学童陸上競技記録会」に参加することができます。(一部抜粋)